

2024年10月24日発行

アグリ筑西 2024年 秋号

季節の変わり目ですので、体調管理には十分に気をつけて作業しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
発行

電話番号：0296(24)9206
FAX：0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

シリーズ「農業経営者に訊く」Vol.7

たかさい

高道祖地区生産組合（下妻市）

当組合は土地改良事業を契機に、約40年前からブロックローテーションによる大豆生産に取り組んでいます。構成員は、40歳代～50歳代の8名からなり、約230haの農地を、4ブロックに分割し、毎年約55haの大豆を生産しています。



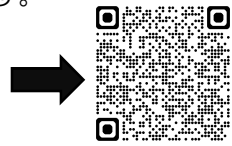
オペレーター8名が参加した研修会の様子

●経営の概要について教えてください。

「水稻-水稻-水稻-小麦・大豆」の4年5作のブロックローテーションを行っています。大豆栽培では、湿害軽減による品質・収量の向上、適期播種を心がけています。

水稻及び小麦については、8名がそれぞれ個別の経営で栽培しており、地区外も含め農地を請け負うことで、作付面積は年々拡大しています。8名合計の水稻面積は約110ha、小麦面積は約80haです。また、栽培の効率化を図るために令和4～5年に、トラクタに後付けできる自動操舵システムを組合が7台導入し※、拡大する面積に対応しています。

※「スマート農業導入の手引き（第4版）
普通作物 編（茨城県農業総合センター）
2024年3月」18ページ参照。



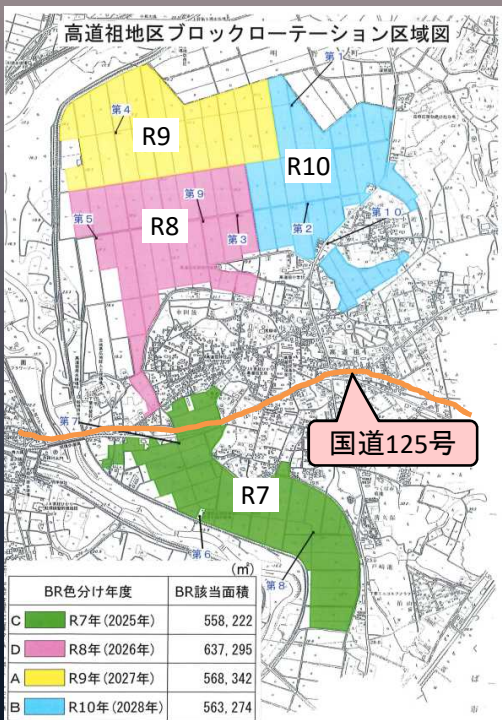
●生産物の販売先について教えてください。

当組合で生産した大豆「納豆小粒」は、道の駅「しもつま」内の納豆工場で「福よ来い」という名称の納豆に加工して販売されています。（納豆工場は、毎週月、水、金曜日の午前中に見学することができます）

また、組合員の一人が生産した酒米「ひたち錦」を原料米とした地酒「紫煌（しおう）」、米焼酎「Shiou」も道の駅等で販売されています。

●今後の取り組みについて教えてください。

地域の農地を維持していくため、今後も、スマート農機や新技術を活用しながら、効率的に適切に地域の農地を管理してまいります。



年次別の大豆作付け計画



納豆「福よ来い」



地酒「紫煌（しおう）」
米焼酎「Shiou」

貴重なご意見を訊かせいただきありがとうございました。これからも農業経営者として地域を牽引されることをご期待いたします。

みどりの食料システム戦略

について

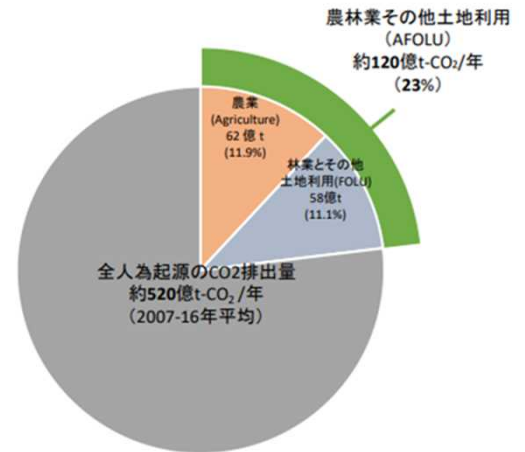
●世界の動き

世界の温室効果ガス（GHG）排出量は、520億 t（CO₂換算）で、このうち、農業・林業・その他土地利用の排出は世界の排出全体の23%（2007-16年平均）になります。

農業分野からの排出について、水田土壌や家畜の消化管内発酵・家畜排せつ物管理等によるメタンの排出量や、農用地の土壌や家畜排せつ物管理等によるN₂Oの排出量がIPCC※により報告されています。

※IPCC：気候変動に関する政府間パネル

世界の農林業由来のGHG排出量



単位：億t-CO₂換算（2007-16年平均）
出典：IPCC 土地利用特別報告書（2019年）

●日本国内の動き

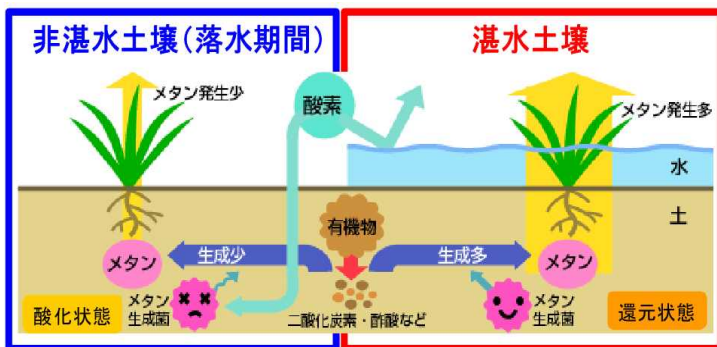
政府が「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指している中、食料・農林漁業の分野においても、積極的に貢献していくことが必要です。そこで、国では食料・農林漁業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を令和3年5月に策定しました。この実現に向け「みどりの食料システム法」が令和4年に制定・施行され、以下の取り組みなどが進められています。

①Jクレジット

温室効果ガス排出削減への取組をクレジット化できます。例えば、中干し期間を、直近2か年の実施日数より7日間以上延長する（排水期間を長くする）取り組みなどがあります。

②環境負荷低減の「見える化」

温室効果ガス削減、生物多様性保全への配慮（米に限る）の貢献度合いを★の数で表示したラベルを農産物に貼ることで、「見える化」を進めています。



メタンが水田で発生するしくみ（出典：農研機構HP）

（出典：農林水産省）



③農林水産省全ての補助事業での環境負荷低減の実践の要件化（クロスコンプライアンス）



補助事業の活用



環境にやさしく
生産性も高い農業へ！



●茨城県内の動き

①環境負荷低減事業活動の認定（いばらきみどり認定）

いばらきみどり認定は、国の法律に基づいて、環境負荷低減に向けた生産者や地域の取り組みを支援・促進するための認定制度です。今後、取り組んでいきたい環境負荷低減事業活動（土づくり、化学肥料・化学農薬の使用減少等）を描くことが申請のポイントです。

（申請の流れ）

申請者 → 県西農林事務所【筑西普及センター（受付）、振興・環境室（認定）】

（認定されるとこんな利点）

- ・設備投資の際の税制優遇が受けられます。
- ・さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます。
- ・日本政策金融公庫の無利子融資等が活用できます。
- ・農業近代化資金の利子補給が2年延長となります。

※詳しくは、筑西普及センター(0296-24-9206)までお問い合わせください。



みどり認定
パンフレット
(チラシ)は
こちら

②有機JAS認証取得の事例（筑西普及センター管内）

【露地野菜】

「おいしく作ること」をこだわりに有機農業に取り組む「㈱レインボーフューチャー」の事例を紹介します。有機農業を実践する際の課題は、「土づくり」と「病害虫・雑草対策」です。

「人の体にやさしい、土にやさしい、自然のままの野菜作り」をモットーに有機栽培に取り組んでいます。ニンジン、ベビーリーフ、ハウレンソウ等50品目以上を約40ha（筑西市35ha・常陸大宮市5ha）で栽培しています。

・土づくり

堆肥を中心に施用することによる土づくりを行い、窒素投入量を極力減らした「えぐみ」のない野菜づくりに取り組んでいます。

・病害虫・雑草対策

防虫ネットやべたがけ被覆による害虫対策や、除草によるほ場衛生の確保に努めています。また、太陽熱土壌消毒を実施し、雑草対策を行っています。

【水稻】

販売戦略として、水稻約6haで有機JAS認証を取得している「㈱大嶋農場」の事例を紹介します。有機農業を実践する際の課題は、主に「雑草対策」と「地域の共同防除との調整」です。

・雑草対策

除草剤は、水田内に限らず流入の懸念がある畦畔にも使用しません。

また、隣接した水田で農薬や化成肥料を使用している場合、当該水田に用水が流入しないようにしています。

・地域の共同防除との調整

隣接する水田から共同防除の薬液がドリフトしないように、認証を受ける水田との間に緩衝地帯を設ける、あるいは周囲の水田を防除対象から除外してもらう等の調整をされています。

③堆肥・液肥の利用

家畜ふん堆肥は肥料成分含量を含有していることから、化学肥料の使用量を効果的に減らすことが可能です。

【堆肥に含まれる肥料成分の計算方法】

肥料分量 (kg/10a) = 堆肥施用量 (kg/10a) × 成分濃度 (%) × 肥効率 (%)

なお、家畜ふん堆肥を施用する場合の施肥量は、茨城県畜産協会のHP掲載の「たい肥ナビ!」で計算できます。



茨城たい肥ナビはこちら

農業三士紹介

令和6年度農業経営士等の認定者・退任者紹介

茨城県では、農業の担い手育成と地域農業の振興をすすめる地域リーダーとなる優れた農業者を農業経営士・青年農業士として認定しています。

(※令和6年度認定より、「農業経営士」、「女性農業士」が「農業経営士」に統合されました。)

7月10日にザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸市千波町）において認定式並びに退任式が開催され、当管内からは、新たに農業経営士1名、青年農業士1名が認定され、女性農業士2名、青年農業士5名が退任されました。

〈認定者〉

●農業経営士認定者



島田 智史氏
(普通作経営、下妻市)

●青年農業士認定者



人見 一成氏
(露地野菜経営、下妻市)

〈退任者〉

●女性農業士退任者

稲見 宜子氏 (筑西市)
池田 千恵子氏 (筑西市)

●青年農業士退任者

松本 幸哲氏 (筑西市)
小島 康秀氏 (筑西市)
飯山 基徳氏 (桜川市)
勝俣 良氏 (桜川市)
鈴木 栄滋氏 (桜川市)

認定されました皆様のご活躍を期待しております。

また、退任されました皆様、長きにわたり御貢献いただき、ありがとうございました。

トピック

BCP（事業継続計画）について考えてみませんか

BCPとは、栽培管理や出荷が止まってしまうような災害に備え、あらかじめ定めた行動計画（事業継続計画：Business Continuity Planの略）のことです。想定される被害を洗い出し、対応策を決めておくことで、復旧にかかる時間が短くなります。災害に強い産地を目指し、BCPについて考えてみませんか。なお、BCPの策定は銘柄産地指定の要件になっています。

スマート農業技術活用促進法が施行されました

農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（スマート農業技術活用促進法）が10月1日に施行されました。

本法律では、生産と開発に関する2つの計画認定制度を設け、農業者は、生産方式革新実施計画の認定を受けることで税制・金融等の支援措置を受けることができます。

生産方式革新実施計画について（農林水産省）はこちら

